

公表：令和 7 年 3 月 28 日

事業所名 ほがぽかキッズ・ステーション

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			児童発達支援を含め定員10名であっても基準に12.47㎡/人の広さを上回る、298㎡/人の広さを確保しています。	
	②	職員の配置数は適切であるか	○			専門職に加え保育士を加配することで基準以上配置しています。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			施設内はバリアフリー化しており、生活環境を整えています。	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			会議等で支援や行事、活動についての反省や評価に対する改善策などについて話し合う機会を設けています。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向け評価表の改善や意見から保護者の方の意向を確認し、業務改善やお子様、保護者の方の満足度の向上につなげられるようにしています。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			法人のHPIに掲載などしてお知らせをしています。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			第三者評価による外部評価は行っていません。今後、検討していきたいと思えます。	外部機関による第三者評価は、コスト面をクリアすれば実施を検討いたします。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			オンライン研修などを活用して職員が学べる機会を作りました。今後も研修を行っていきながら知識、技能を深められるように努めます。	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			お子様の様子や要望の聞き取りを行いアセスメントを行っております。それに基づいて支援計画を作成しています。また、職員との話し合いの中から課題や目標について適切かどうか意見を話し合い計画を作成しております。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			事業所で作成したアセスメントツールを使用しております。	標準化されたアセスメントツールを駆使すべく、勉強会等で知識を深めてまいります。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎月の活動や行事については月のリーダーを中心に考え、職員間で相談しながら立案しています。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			入浴や身体の学習、コミュニケーション等固定化されているプログラムがあります。今後もバランスよくプログラムを考えながら工夫していきます。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			状況に応じて課題を決め支援しております。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの姿、目標、課題を考慮して、個別や集団を取り入れた支援計画を作成しています。	状況に応じて対応出来るように作成しております。

適切な支援の提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前に職員間では打合せを行い活動や職員の動き、お子様の様子、状況について確認を行っています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			その日に合った出来事や保護者の方からの連絡などの報告を行い協議し職員間で共有をしています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個別の記録、日誌に記録をとっています。支援の振り返りや改善につなげています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6ヶ月に一回モニタリングを行っています。目標に沿った支援がどうだったか、目標は適切であったか、子どもの様子など評価を行っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			状況に合わせて4つの基本活動を組み合わせさせた支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理者を中心に日々支援を行っている職員が参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			必要に応じて連絡をし、連携しながら適切に対応をしています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			保護者と連携して主治医や医療機関と連絡できるように体制を整えています。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			必要に応じて情報共有と相互理解を図っていきます。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			必要に応じて会議等を行い情報を提供していきます。	保護者の要望に沿って、支援内容等共有を行っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			支援協議会や部会等の参加を通して情報支援を行い連携しています。また、研修にも可能な限り参加しています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	外出活動にて地域に出ることはあります。	交流の機会を設けられていないため、今後の検討課題とさせていただきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			協議会等、積極的に参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			登園、降園時のやりとりを通して様子を伝え合い共通理解に繋げています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			個別の相談に応じて対応している。今後も相談に応じ機会を作りたいと思います。	ペアレント・トレーニングの実施を検討すると共に、適切なアドバイス等が行えるよう職員のスキルアップを進めてまいります。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			見学や契約の際に丁寧に説明しています。	
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			悩みや相談があった際には場を設け、速やかな対応を心掛け、必要に応じた助言ができるように心掛けています。	
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現時点では実施できておりません。	交流の機会を設けられていないため、今後の検討課題とさせていただきます。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			相談があった際は迅速に対応し必要に応じて職員や保護者への聞き取り、会議等を行い周知説明を行っています。	
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			SNSを活用し発信しています。	
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			入社時に全職員と個人情報についての誓約書を交わしています。また個人情報が記載された書類は鍵付きの書庫で保管しています。	
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			職員間で情報を共有し、それぞれのお子様の表現方法を大切な伝え方の工夫をしたり、保護者には日々のやりとりでのその日の出来事や様子をわかりやすく伝えられるように努めています。	
非常時等の対応	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	同法人で行っている行事に地域の方々に参加し開かれた事業運営を行ってまいります。	地域貢献を含めたイベントを検討してまいります。
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各マニュアルを作成しており契約時に説明を行っています。災害や危険に備えた訓練を実施し、実施した際には連絡ボードにて保護者に伝えていきます。	
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			様々な災害や危険を想定した避難訓練を行っています。	
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止チェックノートの活用や研修を通して適切な知識を持ち、より良い支援ができるように取り組んでいます。	
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			現在、対象となるお子様はいませんが身体拘束を行う場合はマニュアルに沿いながら、職員で検討し、保護者様に説明を行った上で計画に記載します。	身体拘束が必要なお子様が利用する場合は、保護者の同意のもと、支援計画に明記し、実施いたします。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示に基づく対応がされているか	○			利用開始前の面談時にアレルギーの有無を確認しています。アレルギー児が利用される場合は十分に保護者と協議して対応します。必要に応じて医師の指示書に基づいて対応していきます。	基本的に食事・水分の提供はお持ちいただいた物に限っていますが、必要な場合は医師の指示に基づいて提供いたします。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			今後もヒヤリハットを記入し、職員間で共有することを職員に周知していきます。	

○ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。